

月 mon. 19:30-21:30

クラブヒルサイド+BankART1929 共同主催

中原佑介を読む 美術批評の地平

4/4、18、25、5/9、23、30、6/6、13、20、27

戦後日本の現代美術の目撃者として、透徹した論理と平易な語り口をもって美術批評を続けてこられた中原佑介さん。その「美術批評選集」(全12巻/現代企画室+BankART出版)の刊行がいよいよ2011年8月よりスタートします。まさに現代日本美術界の「骨格」と言える氏の仕事を、アクチュアルな課題につなげ、これからの美術が進む道を示す指針として捉え返すために、クラブヒルサイドとBankART1929が共同で研究会を開催します。

4/4 回 今、なぜ中原佑介か？

北川フラム(アートディレクター)+池田 修(BankART1929代表)

4/18 回 「人間と物質」展をめぐる

安齊重男(アートドキュメンタリスト)

4/25 回 「人間と物質」展はどうして生まれたか？

田中信太郎(アーティスト)+峯村敏明(美術評論家)

5/23 回 社会とアートー 絵画、彫刻からインスタレーションへ

川俣 正(アーティスト)+村田 真(美術ジャーナリスト)

5/30 回 戦後美術の周辺とその社会背景

福住 廉(美術評論家)+南後由和(東京大学助教/都市建築論)

6/6 回 50年代へのパスベグティヴ 加治屋健司(広島

市立大学准教授/美術批評家)+粟田大輔(美術評論家)

6/20 回 70年代から80年代へ 建島 哲(京都市立芸術大学

学長/美術評論家)+谷 新(宇都宮美術館館長/美術評論家)

6/27 回 アーティストと作品 山本豊津(東京画廊ティレ

クター)+入澤ユカ(元INAXチーフキュレーター)

※5/9、6/13 回 自由研究会

会場：回 ヒルサイドライブラリー 回 BankART Studio NYK

火 tue. 19:30-21:30

超初級韓国語講座

4/12、19、26、5/10、17、24、31、6/7



BankARTでは、ソウルアートファンデーションとの交流プログラム等、韓国との関係が年々深まっています。昨年からはじめた日韓のプロジェクト「続・朝鮮通信使プロジェクト」も継続中で、今年の夏には数多くの韓国人が来浜します。また秋にはソウル～釜山間を馬などで、2週間合同で旅をします。さて、ここで奮起して、韓国語を学びたいと思います。語学を専門に教えている先生や美術関係で韓国語が堪能な方をお招きしながら、初歩の韓国語をマスターしたいと思います。

李 智希(多摩美術大学芸術学)

朴 起範(東京デュアルビジネス専門学校観光学部)

朴 美姫(武蔵野美術大学大学院造形研究科博士後期課程)

その他

※この講座の受講料は10,000円

水 wed. 19:30-21:30

パフォーマンスの未来

4/13、20、27、5/11、18、25、6/1、8



横浜にはSTスポットや急な坂スタジコ等の専門の施設や、横浜ダンスコレクションや大野一雄フェスティバルなどのパフォーマンス系のイベントがあり、これまで活発に活動を行ってきました。加えて、2011年にはKAAT(神奈川芸術劇場)が誕生、またTPAM(芸術見本市)が横浜の創造界隈の施設とのネットワークのプログラムをはじめました。これからどのようにパフォーマンスアートの可能性を深め、そして、それを市民に広げられるか。関係者の生の声をききたいと思います。原則として各施設を巡りながらのゼミになります。

眞野 純(神奈川芸術劇場KAAT館長)

丸岡ひろみ(TPAMディレクター)+佐藤道元(TPAMプログラムオフィサー)

加藤弓奈(急な坂スタジコディレクター)

中富勝裕(ダンスコレクションディレクター)

大平勝弘(STスポット館長)

溝端俊夫(BankART1929/大野一雄舞踏研究所)

座談会 司会: 武藤大祐(舞踊評論家)

中村恩恵(舞踊家)、.off-Nibroll、村田峰起(アーティスト)、藤田康城(演出家)、門井 均 (TPT芸術監督)

+舞台芸術のファンレーシングのゼミあり(TPAMコーディネーター)

木 thu. 19:30-21:30

村田 真 ゼロ年代のアートはなんだったのか

4/14、21、28、5/12、19、26、6/2、9



21世紀も最初の10年をすぎた今、00年代(ゼロ年代)のアートがどのように動いたかを振り返ってみるのも無駄なことではありません。70-80年代のモダンアートの終焉とポストモダニズムの動きに始まり、20世紀末から急増するエンタテイ

メントとしての美術館と国際展の観光化、世界のマーケットを活気づかせたアートパブルにリーマンショックまで、冷戦構造の崩壊や9.11同時多発テロなどの社会背景を踏まえて考えていきたいと思います。BankART刊「アートのみかた」をテキストに用います。

むらたまこと：1954年東京生まれ。東京造形大学卒業。びあ編集部を経てフリーランスの美術ジャーナリスト。東京造形大学および学習院女子大学非常勤講師、BankARTスクール校長。現在刊行中の小学館ウィークリーブック『西洋絵画の巨匠』(全50巻)のうち、ゴッホ、フェルメール、ゴッギャン、ブリュゲル、モロー、ドラクロワ、ルーベンス、を校正・執筆。また、2010年春、BankART出版から10年間のレビュー集、『アートのみかた』を刊行。

金 fri. 19:30-21:30

黄金町エリアマネジメントセンター+BankART1929 共同主催

大岡川を往く

4/2[土]、15、22、5/13、20、27、6/3、10



BankART Studio NYKと黄金町のゾーンは、大岡川につながっています。また大岡川は横浜港湾とも深くつながっています。川で遊び、内水面を往き、インナーハーバー構想までという、遊びからこれから50年先の都市理論までを射程にのけて、このゼミは進行します。初回、4/2[土](12時 BankART Studio NYK集合)は屋形船で桜まつりに参加しながらのゼミ。その次からは基本は座学ですが、黄金町とBankARTを往来するゼミになります。

一ノ瀬成和(大岡川桜まつり実行委員長)

谷口安利(初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会副会長)

藤井 薫(大阪 水都の会 代表)

進士五十八(東京農業大学 元学長)

松井正澄(ヨコハマY150ヒルサイド担当/アトリエト)

母里聖徳(アーティスト/オルタナティブスペースhaco代表/福岡)

来生 新(横浜国立大学 元副学長)

※この講座の受講料は18,000円

土 sat. 14:00-16:00

建築+空間+家具制作ワークショップ

4/16、23、30、5/14、21、28、6/4、11



「横浜トリエンナーレ2011」と連動して、新港ピアで開催する「BankART Life III」では、国内外から多くのアトリエ・ニシアティブのチームがやってきて、3ヶ月間、活発な活動をおこないます。巨大な集合アトリエ(小さな街)を構成する彼らの空間は、単なるパーティーではなく、建築家やアーティストによる原寸大の建築モデルや、家具などからなります。

これらの制作プロセスの一部をこのプロジェクトに関わるクリエイターを講師に招きながら、ワークショップ形式で行ないたいと思います。図面の書き方、工具の使い方、組み立て方など、実践的なゼミを開催します。

講師予定：みかんぐみ、PHスタジオ、開発好明、松本秋則、NOGAN、その他

※受講料無料

BankARTschool 2011年4月-6月 募集案内

BankARTスクールの概要

週1回、2ヶ月間で全8回。定員は20名程度。

講座時間は19:30~21:30(土曜日は14:00~16:00)です。

場所は、基本的にBankART Studio NYKになります。

スクール受講生の特典

受講生には学生証を発行します。また、BankARTショップでの買い物物が5%割引、BankARTバブおよびカフェの1,000円チケットが10%割引となります。

アシスタントの募集

BankARTスクールでは、講座の記録やサポートをお願いするアシスタントを募集しています。アシスタントの方は、記録担当の講座を無料で受講することができます。意欲のある方のご参加をお待ちしております。

お申し込み方法

①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤メールアドレスを、メール・FAX・電話のいずれかにてお知らせください。その際に受講料の振込先をお知らせいたします。1講座15,000円(税込)。はじめての方は入学金3,000円(税込)も一緒にお支払いいただきます。入金確認でき次第、手続き完了となります。一旦納入された受講料は返金できませんのでご了承ください。

また、講座によっては別途材料費や資料代がかかる場合があります。申し込み受付は定員になり次第、終了させていただきます。

お申し込み・お問い合わせ：BankARTスクール事務局

school@bankart1929.com TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813

BankART Studio NYK 〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9